

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 548

事務事業名	市民ギャラリー運営事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島 恵利子	内線	375
担当者名	今村 明	内線	372

基本目標		人を育むまち
政策	010302	文化の振興と生涯学習の充実
施策		芸術・文化の振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	220000	市民ギャラリー運営事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	作品を展示、発表したい人		
意図 対象をどのような状態にしたいか	芸術・文化の普及・発展を促進し、文化の向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	文化協会・美術協会・中央商店会・観光コンベンション協会等が「まちかど市民ギャラリー運営協議会」を立ち上げ、協議会会則・使用規定に基づき運営管理を行っている。運営協議会はギャラリー内に事務所を置き、利用者の展示受付・企画・広報等の業務を行っており、この運営協議会に対し補助を行う。		
事業期間	平成 14 年度 ~ 平成	年度	実施方法 補助
根拠法令、要綱等	大村市社会教育振興費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 開館日数	計画値	359	359	359	359	
		実績値	359	359	359		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 入場者	計画値	33,000	33,000	33,000	30,000	
		実績値	25,600	28,317	24,738		
		達成度	%	77.6%	85.8%	75.0%	
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他			1,500	1,500				
一般財源	3,000	3,000	1,500	1,500	3,000	3,000	3,000	
② 人件費(千円)	636	302	212	364	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.08	0.04	0.03	0.05	運営補助	運営補助	運営補助	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,636	3,302	3,212	3,364				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	芸術性に富んだ作品が出品され、観覧者にも創作意欲を湧かせることもあり、芸術文化の普及発展に大きく寄与すると考えられる。また平成24年から入場者数は増加傾向である。
事業が抱える問題・課題等	新たな出展者を増やすことや、駐車場確保等が必要となっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	文化芸術作品の身近な発表の場として市民への定着がうかがえ、必要性が認められる。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	芸術作品を常時、発表、鑑賞できる公共的な施設の役割を果たしており、市の関与が必要である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	多くの人が訪れている。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	芸術文化の振興のためには、発表の場は必要であり、市民ギャラリーは大村市の芸術振興のために大切な施設になっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	市民ギャラリーは大村市の芸術振興のために重要な施設であり、運営委員会も収入確保に努力している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市民に親しみやすい芸術発表、鑑賞の場として定着しており、引き続き運営を支援するためにこのまま継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。